

~~~~~ ○ ~~~~~  
午前11時00分 開会

○議長（林 健児君）

ただいまの出席議員数は11人です。定足数に達していますので、ただいまから令和4年11月大治町議会臨時会を開会します。

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりです。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、5番三輪明広議員、6番若山照洋議員を指名します。

日程第2、会期の決定についてを議題とします。

議会運営委員長から会期の報告を求めます。

○議会運営委員長（下方繁孝君）

議長。

○議長（林 健児君）

議会運営委員長、お願いします。

○議会運営委員長 下方 繁孝

本日、議会運営委員会を開会し、令和4年11月大治町議会臨時会の会期を本日1日限りと決定しましたので御報告申し上げます。

○議長（林 健児君）

お諮りします。

議会運営委員長の報告どおり、会期は本日1日間とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（林 健児君）

異議なしと認めます。したがって、会期は本日1日間と決定いたしました。

日程第3、議案第56号令和4年度大治町一般会計補正予算（第8号）を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

○町長（村上昌生君）

議長。

○議長（林 健児君）

町長。

○町長（村上昌生君）

議案第56号令和4年度大治町一般会計補正予算（第8号）。

令和4年度大治町の一般会計補正予算（第8号）は、次に定めるところによる。

第1条第1項、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億4420万5000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ102億6301万6000円とする。

第1条第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表歳入歳出予算補正による。令和4年11月22日提出、大治町長。

今回の補正の内容は、歳出におきましては、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、医療・介護・保育施設等に対し、支援金を交付するための経費として、介護・障害福祉サービス事業所に対して400万円、保育事業所等に対して75万円、医療関係事業所に対して270万円を計上し、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、食費等の物価高騰の影響を受ける子育て世帯を支援するため、児童手当対象児童1人に対し、1万円を給付するための経費として5422万5000円を計上し、コロナ禍における物価高騰の影響を受ける町内事業者及び町民に更なる支援を行うため、全町民に対して2,000円分の商品券を追加で配布し利用してもらうため、大治町商品券交付事業費として8253万円を増額するものでございます。

歳入におきましては、これらの財源として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金として6919万9000円を増額し、子育て世帯臨時特別給付金の事務費補助金として402万5000円、事業費補助金として5020万円計上し、財政調整基金繰入金を2078万1000円増額するものでございます。

○議長（林 健児君）

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

○2番（鈴木康友君）

議長。

○議長（林 健児君）

2番鈴木康友議員。

○2番（鈴木康友君）

2番鈴木康友です。まず15ページから17ページ、医療・介護・保育施設等物価高騰対策支援金交付事業実施についてお伺いをさせていただきます。

この実施概要書の中にもございました対象事業者ということで1事業者が同一所在地で複数の施設、または事業所を運営する場合は、該当する支援金額のうち最大の額を交付するというので、こちらについては2カ所、3カ所の施設運用の場合は1カ所最大の金額しかいただけないというこの根拠というか、これに2分の1の、もし複数事業者運営していた場合、2分の1、3分の1の各施設において支援を行ってもいいような気

がするんですが、こういった文言を書かれた理由とといいますか、選択根拠というのを教えていただきたいです。

もう1つが19ページ、大治町商品券交付事業費。こちらについて簡易書留からゆうパックに郵送方法とといいますか、送付方法が変更になられていますが、なぜゆうパックのほうを選択されたのかということでこちらの理由を教えていただきたいです。以上です。

○福祉部次長兼民生課長（猪飼好昭君）

議長。

○議長（林 健児君）

民生課長。

○福祉部次長兼民生課長（猪飼好昭君）

複数事業がある場合、なぜ最大の金額かということですが、例えばグループホームである場合、事業所単位で交付は行います。ただ、例えば定員が200名のような大きい施設と通所の事業所を行っているような場合は最大の金額のところということで今回のほうは金額の整理をさせていただきました。以上です。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

議長。

○議長（林 健児君）

産業環境課長。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

発送方法の変更につきましては、簡易書留、当然前回同様考えさせていただいたところ、年末年始の繁忙期にかかるということで、おおよそ10週程度は見込んでほしいというお話でありましたので、今回ゆうパックでありますと6週程度に短縮できるということで、今回ゆうパックのほうで発送するという判断をさせていただいたものでございます。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

○2番（鈴木康友君）

議長。

○議長（林 健児君）

2番鈴木康友議員。

○2番（鈴木康友君）

引き続き商品券交付事業についてお伺いさせていただきます。今御説明いただきました。期間短縮はできるぞということなんですが、これ1個口当たりに関しての予算といえますか、費用についてはどれぐらい変化があるのかなということが1点と、あと使用の期間が短くなると思うんです、到着してから。なので、広報といいますか町民の方

への広報の方法。どのような形で第2弾の周知をされていくのかというのを教えていただきたいです。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

議長。

○議長（林 健児君）

産業環境課長。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

1件当たりの費用につきましては、簡易書留が今まで346円という形がかかっておりますので、ゆうパックにつきまして1件当たり470円という形になります。差額としましては124円の増額という形になりますが、先ほどの理由で今回採用をしておるものでございます。

それから周知につきましては、当然専用のホームページに掲載させていただきます。それから、また第2弾としての発送時、商品券の発送時に前回と同様にチラシのほうも入れさせていただきますので、そちらのほうで広報をしていきたいという形で考えております。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

○6番（若山照洋君）

議長。

○議長（林 健児君）

6番若山議員。

○6番（若山照洋君）

6番若山照洋です。同じく19ページの商品券交付事業なんですけど、今回この委託料というのが入っていないんですけど、宛名印刷とかその辺はどういうふうにお考えなんですか。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

議長。

○議長（林 健児君）

産業環境課長。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

宛名につきましては、前回の宛名の委託の中でシステムを構築しました。そちらのほうのシステムを利用して、今回職員のほうで高速プリンターのほうで印字をするという形で考えておりますのでよろしくお願いします。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

○10番（林 哲秀君）

議長。

○議長（林 健児君）

10番林 哲秀議員。

○10番（林 哲秀君）

10番林でございます。同じく19ページの商品券につきまして、今現在この使用できるところがどのくらい登録してみえるのかが1点と、わかる範囲で結構です。それと12月に開店したいというお店があるんです。職種は総菜屋さんなんですが、これは商工会へ登録してすぐすれば使用できる権利があるのか。この2点だけちょっと教えてください。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

議長。

○議長（林 健児君）

産業環境課長。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

登録店舗数でございますが、最新で町内登録していただいている店舗が78店舗でございます。

それから、恐らくおっしゃってみえるのが登録店への参加という意味合いだと思いますが、そちらにつきましては当然開業されて、こちらのほうに登録の申請を書いていたという形になりますのでよろしくお願いたします。

○10番（林 哲秀君）

議長。

○議長（林 健児君）

10番林 哲秀議員。

○10番（林 哲秀君）

そうしたら商工会のほうにも登録して役場のほうへ申請すれば権利が得られるということによろしいですか。

〔「関係ない」の声あり〕

○10番（林 哲秀君）

関係ない、商工会関係ないですか。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

議長。

○議長（林 健児君）

産業環境課長。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

商工会については、今回登録等は関係ございませんのでよろしくお願いたします。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

○9番（吉原経夫君）

議長。

○議長（林 健児君）

9番吉原経夫議員。

○9番（吉原経夫君）

9番吉原経夫でございます。18ページ19ページの商品券交付事業費でございます。

まず、簡易書留からゆうパックに変えられたと。やはり簡易書留だと本人確認などが要るわけで、第1弾でやられた3,000円のほうですね、どれぐらい役場の方に戻ってきているのかと。ゆうパックですとちょっと本人確認要らなくて入れられるので戻ってくるということはほとんどないと思うんですが、簡易書留どれぐらい戻ってきたのかというのが1点。

また、前ですね、総務部長から3,000円の委託事業費の余りの中で対応するということがございましたが、表に出ていない、今回出ていない経費。前回の委託料の中の経費ですとか、そこら辺どれぐらいこの予算書に出ていない経費がかかっているのでしょうか。

また、議会報告会の中で町民の方二人から意見をいただきまして、全員に商品券を配るというよりも生活に困っている、もしくは特定の施策の中で、分野の中でやるべきではないのかと。全員に配るのはどうかという声もございまして3,000円の件ですが。また2,000円ということでここら辺いろいろ行政側も考えられたと思うんですが、例えば今回やっている子育ての件でも県のお金をそのまま1万円やるわけですが、上乘せ支給するとか医療・介護・障害・福祉などなどの事業所をもう少し単価を上げるとか、そこら辺の考えはなかったのかというのをお聞きしたいと思います。

また次に、13ページ、子育て世帯臨時特別給付金の事業費で児童手当受給者ということで特例給付の方は一応9月まで特例給付があるわけで10月から特例給付なくなるようなんですが、特例給付は対象になるのかどうかという点。

また、ちょっと医療・介護・福祉の関係の対策支援金ですが、複数の事業ということで特に介護などですと訪問介護をやっているところは居宅介護支援、結局ケアプランをつくる事業とか重なっている場合が多い。そういうことで1つの事業だけだ。同じ所在地の場合、1つの事業だけだということだと思いましたが、これは医療・介護・福祉、分野が分かれていてもやっぱり1つの事業所とみなすのでしょうか。そこら辺どうでしょうか。以上、お聞きいたします。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

議長。

○議長（林 健児君）

産業環境課長。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

まず郵便局から戻ってきた件数でございます。こちらにつきましては833件でございます。

それから、今回の補正に上がっていない部分の費用でございます。こちらにつきましては、商品券の第2弾の事業の包括管理業務委託といたしまして717万400円を随意契約ということで現行の包括委託の事業者のほうへ発注をしております。

最後に、商品券以外の事業を考えなかったかというお話でございますが、こちらにつきましては当然、各部局でいろいろな案を考えまして、今回につきましては商品券については物価高騰の影響を受けている町民の生活の支援という形で今回計上をさせていただいたものでございますのでよろしくお願い申し上げます。

○総務部長（大西英樹君）

議長。

○議長（林 健児君）

総務部長。

○総務部長（大西英樹君）

ただいま産業環境課長が答弁いたしました経緯についての少しお話をさせていただきたいと思っております。まず3,000円の商品券を交付するに至ったものにつきましては、コロナ交付金。これは物価高騰に対する施策を打つようにというような国からの文書がまいりまして、そうした中でいろんな施策はあると思っておりますが、やはり物価高騰で困っているのは町民もしくは事業者ということは考えられました。先ほど申しましたとおり、いろんな部署で考えましたが、やはり広く行き渡る施策としては商品券の発行、これが一番いいだろうということでこれは全庁的に協議した結果でございます。

また2,000円の追加につきましては、これも9月の終わりごろに国から追加で予算が認められまして、またそういう施策を打ってほしいということでした。これも物価高騰に限定された内容でございます。これにつきましては、どうしても年度内に事務を終わる必要がございます。そうした中でいち早く町民の方に有効な施策を打てるものとしてということを前提に考えてまいりました。そうした中で、まだ物価高騰がさらにまた続くというような報道もありましたので2,000円追加してやったほうがいいのかと。それで年度末までに終われる事業ということで、こういった予算の提案になったということでもありますので御理解のほどお願いします。

それからもう1点、今回上げています社会福祉施設等の補助につきましては、これも物価高騰ではあります。いろいろな事業所に対して補助をするというような施策は考えられますが、まずは町民の方が利用している施設ということでまずやっていきたいなということで、これも幹部の中で意見を集めて今回提案に至ったところでございますので御理解のほどよろしくお願い申し上げます。以上です。

○子育て支援課長（古布真弓君）

議長。

○議長（林 健児君）

子育て支援課長。

○子育て支援課長（古布真弓君）

今回の給付金につきましては、児童手当の受給者のみの対応となります。特例給付の方は対象外となりますのでよろしくお願いいたします。

○福祉部次長兼民生課長（猪飼好昭君）

議長。

○議長（林 健児君）

福祉部次長兼民生課長。

○福祉部次長兼民生課長（猪飼好昭君）

今回の支援金の交付目的なんですが、物価高騰の影響を受けている事業者に対して事業者支援でございますので、確かに介護事業所におきましては入所の施設とか通所の事業所なんか複数事業を行っている事業者もございますが、その中で最大の額を交付するという事で決定させていただきました。以上です。

○9番（吉原経夫君）

議長。

○議長（林 健児君）

9番吉原経夫議員。

○9番（吉原経夫君）

9番吉原です。私が聞いたかったのは、医療・介護・福祉、さまざまな分野をやっている事業所があります。分野が違っていてもやっぱり1つの事業所だったら1つになる。事業所というか設立母体ですね。当然、事業所名というのはそれぞれ許認可の関係で名前は変わってくるわけで、ただそれは例えば、余り具体例出すのもなんですが社会福祉協議会さんはいろんな事業をやられているけれども同一事業所なので、同一場所ですから1つだけなのかということをお聞きしたいんですが、どうでしょうか。

○福祉部長（安井慎一君）

議長。

○議長（林 健児君）

福祉部長。

○福祉部長（安井慎一君）

今回につきましては、物価高騰費ということで主に光熱費に重点を置きまして考えております。そうした場合、1つの施設、建物あるいは居室。その中で複数事業が行われておりましても1カ所という扱いになりますので、例えば1施設で2事業やってお



でもそれは1カ所の単位でくるということで判断しております。以上です。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

○9番（吉原経夫君）

議長。

○議長（林 健児君）

9番吉原議員。

○9番（吉原経夫君）

ということは、1つの場所でやっていて違う分野の事業であっても、当然事業所名が違ってても一体のものとみなして一番高いのだということで間違いがないんですね。はい、わかりました。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（林 健児君）

これで質疑を終わります。

お諮りします。

議案第56号は、会議規則第39条第3項により委員会の付託を省略したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（林 健児君）

異議なしと認めます。

ただいま議題となっております議案第56号は、委員会の付託を省略することに決定いたしました。

これから討論を行います。

まず、原案に反対の方の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（林 健児君）

これで討論を終わります。

これから議案第56号を採決します。

議案第56号は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立 全員〕

○議長（林 健児君）

起立全員です。したがって、議案第56号は原案のとおり可決されました。

以上で、本日の日程は全部終了しましたので会議を閉じます。

これで令和4年11月大治町議会臨時会を閉会します。



午前11時22分 閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 長 林 健 児

署名議員 三 輪 明 広

署名議員 若 山 照 洋